

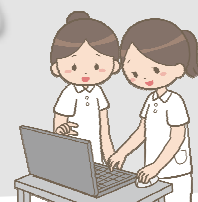
参加費無料

第188回医療情報システム研究会 40周年記念開催

パート
34

看護業務を支援する情報システム 「看護現場の"これまで"と"これから"」

～看護業務・看護記録・そしてコロナ～



2020年12月吉日

「医療情報システム研究会」運営委員会

「看護業務を支援する情報システム」プログラム委員会

国内外で新型コロナウイルス感染拡大が進む中、医療の最前線でご尽力されている医療従事者の皆さまに心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、当研究会は、お陰様で今年40周年を迎えました。今回、「40周年記念開催」として、「看護現場の"これまで"と"これから"」をテーマにオンラインにて研究会を開催いたします。

前半は、感染症学の第一人者である、国立国際医療研究センター 大曲先生の特別講演の後、「ICTが果たすコロナ対策」についてご紹介いただきます。

後半は、「看護業務」と「看護記録」に焦点を当て、看護情報・管理学の第一人者である、国立看護大学校 柏木先生の特別講演と各病院様の取り組み事例をご紹介いただきます。また、第三部最後に、昨年同様、参加型徹底討論のコーナーを設け、『看護記録』について参加者の皆さまと本音で語り合い、悩みの共有や解決法、先行取り組みやアドバイスなどを共有する「場」といたしたく存じます。

ご関心をお持ちの皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

.....✿..... ✿..... ご 案 内✿..... ✿.....

日時

2021年2月6日 土

〔ログイン可 9:20～〕

10:00～16:40

開催形態

オンラインセミナー



(ZOOMウェビナー)

- ✔ 今年度は、創立40周年記念開催として、『参加費無料』で開催いたします。
- ✔ 接続制限数を超過してお申し込みはお断りする場合がございます。「医療情報システム研究会」会員様および医療機関様優先で受けさせていただきます。

お申込みは
こちらから

以下サイトまたはQRコードより必要事項を記載のうえ、登録ください

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/35966>

【締め切り】2021年2月3日(水)



- 1 本研究会は、医療情報技師更新対象となっております。(1ポイント/申請者)
※以下2つの条件を満たされた場合に、視聴されたものと見なし、ポイント申請いたします。
 - ① イベント開催時間中、60%以上の接続時間であること
(当日、各セッション後に確認コードをアナウンスします。5コード中、3コード以上の入力で60%接続とみなします。)
 - ② イベント中に表示される確認コードを申請用紙に入力し提出すること
- 2 「認定看護管理者更新申請」の際に利用(ポイント加算)できる「研修参加証明書」を発行します。(申請者に送付)
 - 1
 - 2ともに、申請書は、以下の医療情報システム研究会サイトに登録しております。

時間	プログラム・演者	
10:00~10:10	開会挨拶	プログラム委員長挨拶 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 美代 賢吾
10:10~10:50	特別講演①	<座長> 関西医科大学 大学情報センター 准教授 仲野 俊成 COVID19のこれまでの経験・対応と今後 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫
10:50~12:00	I. ICTが果たすコロナ対策	<座長> 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 美代 賢吾 <座長> 兵庫県立大学大学院 准教授 高見 美樹 1. ICTが果たすコロナ対策～看護師の視点から～ NTT東日本 関東病院 看護部 村岡 修子 2. 一般急性期病院における対応と今後の課題 ～市立岸和田市民病院での取り組みから～ 市立岸和田市民病院 感染管理認定看護師 森野 幸代 3. Withコロナ時代のオンラインフィットネスシステムの開発と検証 立命館大学 理工学部・ロボティクス学科・生体工学研究室 王 天一
<休憩>		
13:00~13:50	特別講演② (録画ご出演)	<座長> 兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科 教授 石垣 恭子 初心にかえて“これから”を考える (看護記録と看護業務) 国立看護大学校 看護情報・管理学 准教授 柏木 公一
13:50~14:55	II. 看護業務へのICT活用	<座長> 神戸市立医療センター中央市民病院 看護部 中西 寛子 <座長> 関西医科大学総合医療センター 看護部 井上 由美 1. 勤務表自動作成ソフトの有効活用 —スタッフ目線の安全なシフト作成を目指して— 三田市民病院 看護課長 石田 弘美 2. ナースコール履歴からみえる病棟毎のナースコールの特徴 神戸大学大学院 保健学研究科 博士後期課程 福重 春菜 3. 看護研究会とともに歩む富士通の看護システム 富士通株式会社 ヘルスケアソリューション事業本部 シニアマネージャー 西田 雅則
<休憩>		
15:15~16:35	III. 看護記録の効率化 (記録の改善とパス)	<座長> 神戸女子大学 看護学部看護学科 助教 三苫 美和 <座長> 香川大学医学部附属病院 医療情報部 山田 章子 1. クリカルパスの概要・クリカルパス使用による看護記録の効率化 名古屋大学医学部附属病院 メディカル I Tセンター 助教 船田 千秋 2. Basic Outcome Master(BOM)の概要と活用事例 大阪市立大学医学部附属病院 看護部 吉本 千鶴 3. マスタ構築及び組織体制づくりについて 香川大学医学部附属病院 医療情報部 山田 章子 【参加型徹底討論】 ※ZOOMのチャット機能を使った参加型討論会を開催いたします。(詳細は当日ご案内いたします)
16:35~	閉会挨拶	医療情報システム研究会会長挨拶 関西医科大学香里病院 事務部課長 北口 宏

※ライブ配信の為、多少予定時間がずれ込む可能性がございます。ご了承ください。

※講演資料につきましては、医療情報システム研究会サイトにて、2日前(2/4 PM)より公開予定です。(申込み者にPWを通知)

【特別講演①】COVID19のこれまでの経験・対応と今後

国立国際医療研究センター
国際感染症センター長 大曲 貴夫



1997年 佐賀医科大学医学部卒。テキサス大ヒューストン校感染症科、静岡がんセンター感染症科医長などを経て2012年から国立国際医療研究センター病院・国際感染症センター長。
ダイヤモンドプリンセス号の対応に加え、東京都のアドバイザーとして東京都の新型コロナ対策に尽力。
NHKなど、多数の番組にもご出演。

【特別講演②】初心にかえって“これから”を考える(看護記録と看護業務)

国立看護大学校
看護情報・管理学 准教授 柏木 公一



1993年東京大学医学部保健学科卒業、同年 東京大学医学部附属病院看護師勤務 1996年東京大学大学院医学系研究科保健学専攻。2002年より国立看護大学校 現職 准教授 看護情報学、国立国際医療研究センター（研究所）研究員 併任。

お申込み



1. 下記URLにアクセスしてください（右のQRコードを読み取っていただいても、サイトへアクセスできます。）
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/35966>
2. 申込みフォームに必要事項を入力し「個人情報の取り扱いについて※」にご同意の上お申し込み下さい。



※e-mailによるお申込みも受け付けております。下記申込先アドレス宛に、「参加者氏名」、「施設名」、「住所」、「所属(役職)」、「電話番号」を記載のうえ送信ください。（E-mail : contact-hug@cs.jp.fujitsu.com）

お申込み完了後



3. お客様のメールアドレス宛に、セミナーお申込み完了メールをお送りします。

開催1週間前



4. 受講に必要な情報（URL、パスコード等）を記載したメールをお送りいたします。（資料ダウンロード情報追加）

開催2日前



5. 4項で送付した内容のリマインドメールをお送りいたします。

当日



6. 4項・5項メールの記載内容に従ってURLにアクセスします。（9:20~接続可。接続に不安がある方はお早めに接続ください）

終了後



7. 「医療情報技師更新対象研究会ポイント」および「研修参加証明書」を申請される方は、医療情報システム研究会サイトより申請用紙をダウンロードし、事務局にメール送信。

※当日の接続マニュアルを申込み者に送付いたします。[医療情報システム研究会サイトにも掲載予定（1月中旬を予定）]

■ お問い合わせ先

医療情報システム研究会 事務局

富士通株式会社 関西ヘルスケア統括ビジネス部内

〒540-8514 大阪府中央区城見2-2-6 関西システムラボラトリ

E-mail : contact-hug@cs.jp.fujitsu.com

Tel : 06-6920-5629（直通）

担当：磯貝、高木、佐々木、國定（くにさだ）

■ 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は、「医療情報システム研究会」運営委員会および「看護業務を支援する情報システム」プログラム委員会ならびに富士通株式会社が本研究会に関する連絡、接続管理など、運営目的に利用いたします。

ご記入いただいた内容についての開示、訂正、追加、削除は、左記事務局までご連絡ください。

※個人情報の取扱いについての規約にご同意の方のみのお申込みとなります。

運営委員：北口 宏 (関西医科大学香里病院 事務部 医事課・管理課)
杉原 敬彦 (甲南会甲南医療センター 医療情報部)
内林 幸太 (淀川キリスト教病院 情報管理課)
北村 臣 (奈良県立病院機構 法人本部事務局情報システム室)
橋本 尚也 (大阪府済生会吹田病院 情報システム課)
中島 清訓 (大阪回生病院 医療事務部)
渡邊 謙太 (愛仁会 千船病院・尼崎だいもつ病院 診療情報管理室)
堀 謙太 (兵庫医科大学 情報センター)
藤田 哲也 (パナソニック健康保険組合松下記念病院 医療情報管理室)
山崎伸一郎 (加古川中央市民病院 医療業務部)
寺西 正志 (個人会員)

✓ 「看護業務を支援する情報システム (パート3 4)」プログラム委員 <50音順>

委員長 美代 賢吾 (国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター)
東 ますみ (神戸女子大学 看護学部看護学科)
石垣 恭子 (兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科)
井上 由美 (関西医科大学総合医療センター 看護部)
内城 順子 (大阪府済生会吹田病院 看護部)
久保慎一郎 (奈良県立医科大学附属病院 看護部・医療情報部)
高見 美樹 (兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科)
中西 寛子 (神戸市立医療センター中央市民病院 看護部)
中西 雅美 (神戸市立医療センター中央市民病院 看護部)
仲野 俊成 (関西医科大学 大学情報センター)
三苫 美和 (神戸女子大学 看護学部看護学科)
山田 章子 (香川大学医学部附属病院 医療情報部)
山村 麗子 (大阪市立大学医学部附属病院 看護部)
吉本 千鶴 (大阪市立大学医学部附属病院 看護部)
才津 久永 (富士通株式会社)
森岡 正彦 (富士通株式会社)

顧問： 中木 高夫 (前プログラム委員長)

【医療情報システム研究会「看護業務を支援する情報システム」34回までの歩み】

1980年 関西を中心とするは医療情報システムユーザにより 医療情報システム研究会 発足
1987年～ 年4回開催例会のうち、2月開催分を『看護に特化した例会』として開催することになり、
2002年阪神・淡路大震災発生時を除き毎年開催 (今回が34回目)

美代委員長を初めとするプログラム委員および運営委員により、毎回テーマを設定し、各テーマに沿った
先進的な実践からの報告を主に構成しています。

当日のお願い事項

本セミナーは、ライブセミナー配信システムZoomビデオウェビナーを利用して行います。
ご視聴可能な環境など詳細情報は、Zoom Video Communications Inc.のサイトを参照願います。
(<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>)

当日は、Zoomが視聴可能なパソコンまたはタブレット、スマホなどをご準備ください。
(周りへの配慮で音を出したくない場合には、ヘッドホンやイヤホンをご使用ください。)

セミナー開催中の音声出力はファシリテータおよび講師のみを想定しております。ご参加いただく皆さまからのご質問などはチャット形式にて対応いたします。

